

1 子供も読める広報の作成について

ただいまの ^{いつきはやた} 齋 颯太議員のご質問にお答え申し上げます。

子供も読める広報の作成についてであります。現在発行しております「広報ぬまた」は、昭和29年9月発刊して以来、今月発行した11月号で843回目を迎えました。この間、市では、市民の皆さんへ必要な情報をできるだけ早くお届けできるよう、市役所の各種手続きやイベントのお知らせなどを掲載してきたところであります。

^{いつき} 齋 議員のご意見にありますように、市民の皆さんからの大切な税金により発行している「広報ぬまた」ですので、大人に限らず、子どもにも読める、そして、分かりやすい広報でなくてはなりません。そのため、記事を作成する際には、できるだけ優しい表現に心掛け、難しい漢字には「ふりがな」をふり、記事の切れ間にはイラストのカット ^{もち} を用いるなどして、編集の作業を行っております。

また、子どもにも広報に興味をもってもらおうと、子ども向けペー

ジといたしまして、平成24年4月号から「わたしたちの小中学校」をテーマに、各学校の活動などを紹介するコーナーを設け、児童・生徒や学校の先生に原稿をお願いし、22回にわたり掲載を行ってきました。^{いつき} 齋議員の通う薄根小学校も、当時6年生だった学校の先輩が書いてくれた記事が掲載されています。後ほど、ぜひ、ご覧ください。

本市といたしましては、今回のご意見を踏まえながら、引き続き、親しまれる広報づくりを目指すとともに、子どもの笑顔あふれる写真や活躍の様子、子ども向けの本の紹介や遊び場の情報、また、新たな企画を盛り込み、広報ぬまたをお届けしたいと考えております。

^{いつき} 齋議員におかれましても、今後とも広報ぬまたが沼田市の事を考える一つの参考資料になってくれることを望んでおります。

以上申し上げます、^{いつきはやた} 齋 颯太議員のご質問に対する答弁とさせていただきます。